



唐津市
論点データ集（個別課題編）サマリー資料

参考資料 2

目次

1.各論点にかかる主要な調査結果	3
1 - 1.【若者回復率】	4
1 - 2.【住環境】	6
1 - 3.【医療・福祉】	8
1 - 4.【地域経済循環分析】	10
1 - 5.【観光】	12
1 - 6.【地域・行政】	14

1.各論点にかかる主要な調査結果

(注)

・他市との比較が必要な指標は、県内9市(佐賀市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市)の他、唐津市の類似団体である熊本県八代市、鹿児島県鹿屋市、山形県鶴岡市の3市のデータを参考にした。

・観光客数等に関するデータは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を除外するため、最新データではなく令和元年の数値を使用している。(施設数については最新データを用いているものもある。)

1 - 1.【若者回復率】

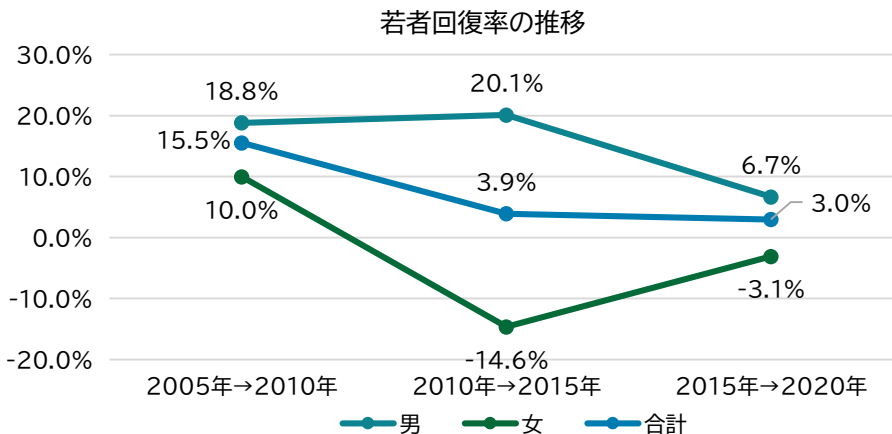
カテゴリー 1. 若者回復率

若者回復率の推移

2005年以降の若者回復率の下落は著しく、特に女性ではマイナスになるなど、唐津市から転出した若者がほとんど戻ってきていないことがみてとれる。

男性の若者回復率についても2015年から2020年にかけては下落幅が大きくなっており、近年課題がより深刻化していることがわかる。

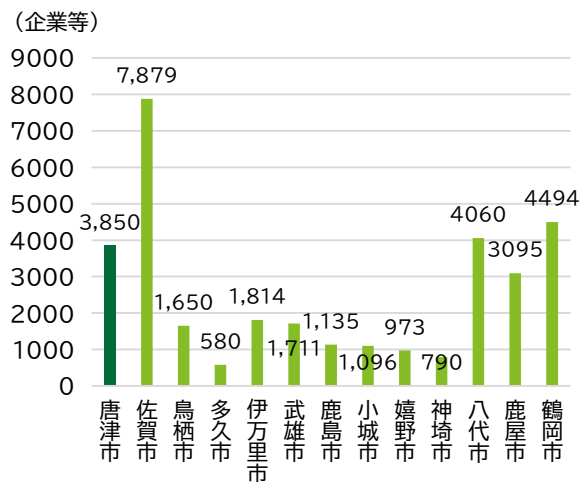
※若者回復率とは、豊岡市が独自に定義した指標で、10代の転出超過数に対する20代の転入超過数の比率を表したものの。国勢調査のデータをもとに算出している。



論点 1. 働く環境

企業等数の他市比較（2021年）

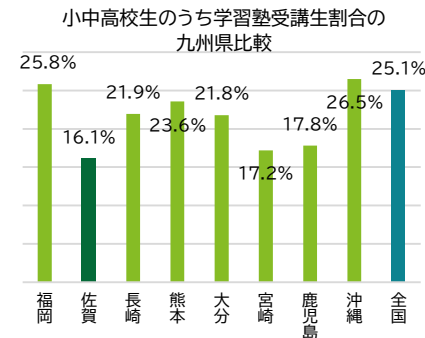
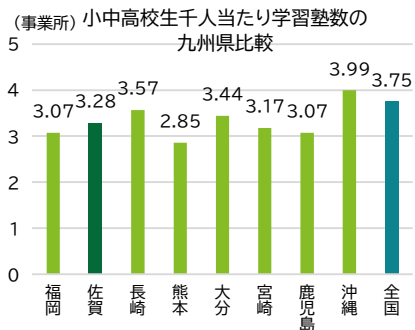
唐津市の2021年の市内企業等数は3,850で、類似団体の八代市、鶴岡市を下回る水準である。



論点 2. 教育環境

学習塾数・受講生の九州県比較（2018年）

佐賀県の小中高生当たりの学習塾数は3.28で、全国値よりは低いものの九州他県と同水準であるが、受講生割合は16.1%と全国平均・九州他県を大きく下回る。

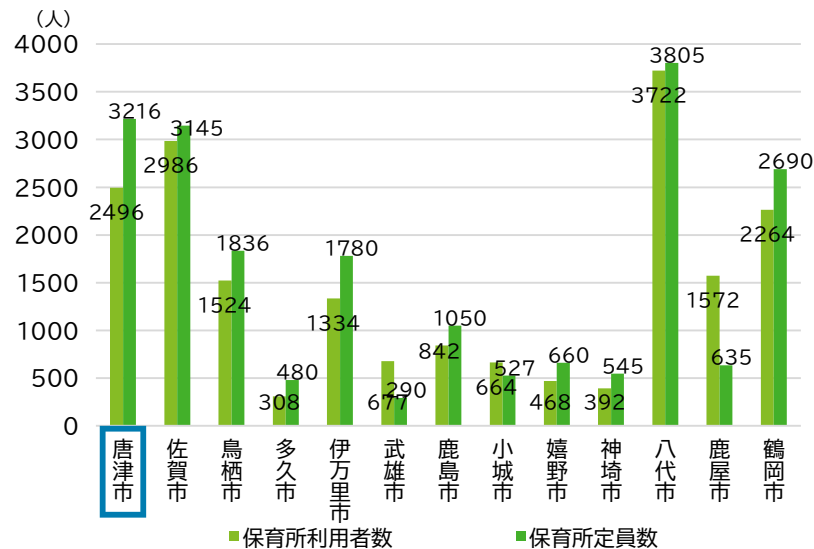


1 - 1.【若者回復率】

論点3. 子育て環境

保育所利用者数(2023年)と保育所定員数(2022年)の他市比較

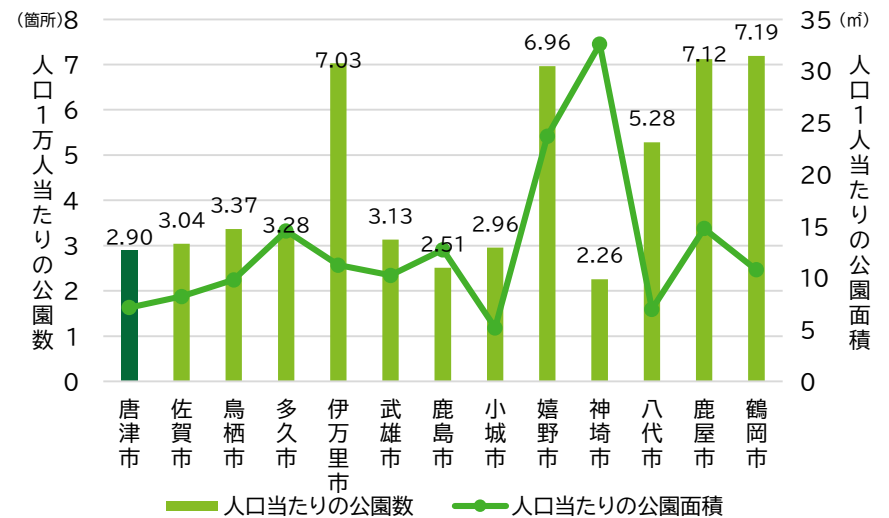
唐津市の保育所利用者数、保育所定員数は佐賀市や類似市と大差はなく、利用者数に対して定員数は充足している。



論点4. こどもが遊ぶ場所

人口1万人当たり公園数・1人当たり公園面積の他市比較 (2022年)

唐津市の公園数を特に類似団体と比較すると、面積が同程度のため公園の広さは伺えるものの、公園数は大きく下回っている。

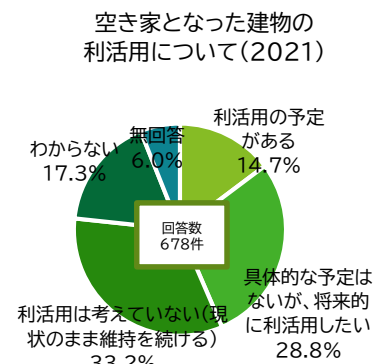
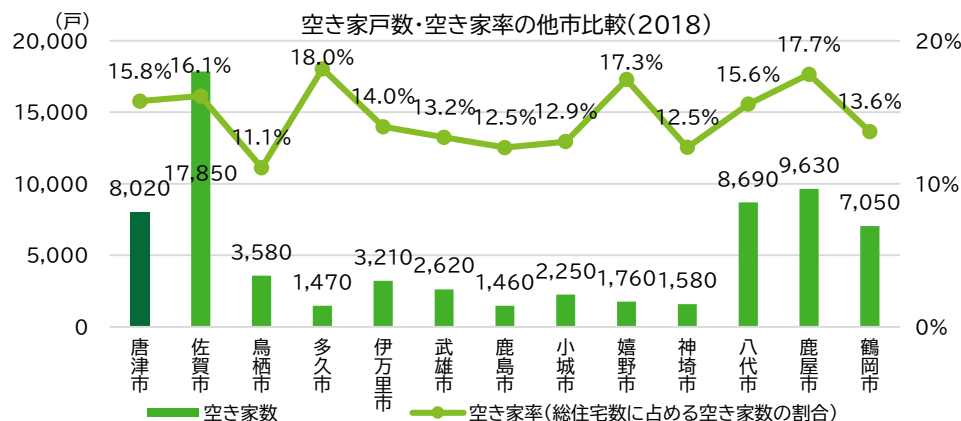


1 - 2.【住環境】

カテゴリ-2 住環境

唐津市の空き家状況

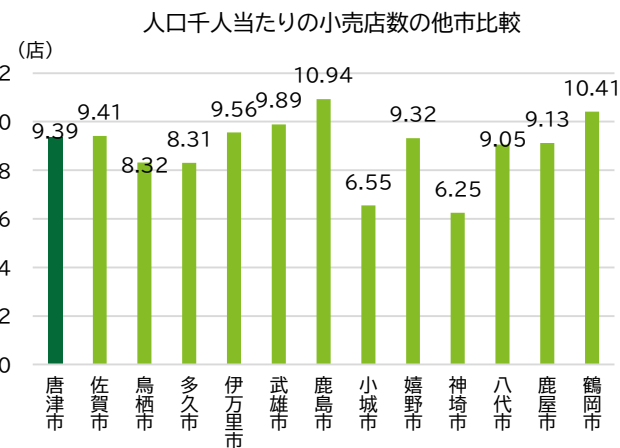
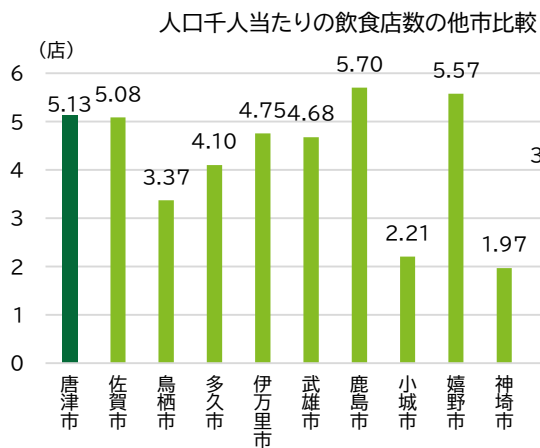
唐津市の空き家率は15.8%で他市と比べ比較的高い水準である。
一方、空き家となった建物の利活用について、利活用は考えていないと回答した人が最も多く33.2%であり、市民が安心して住み続けられる住環境の整備が必要となる。



論点5. 買い物環境

人口当たり飲食店数・小売店数の他市比較 (2021年)

唐津市の人口当たりの飲食店数は佐賀市と同水準であり、類似団体を上回ることから、比較的高い水準であるといえる。
一方、人口当たりの小売店数で見ると、やや水準が下がり、鶴岡市を1.0以上下回っている。

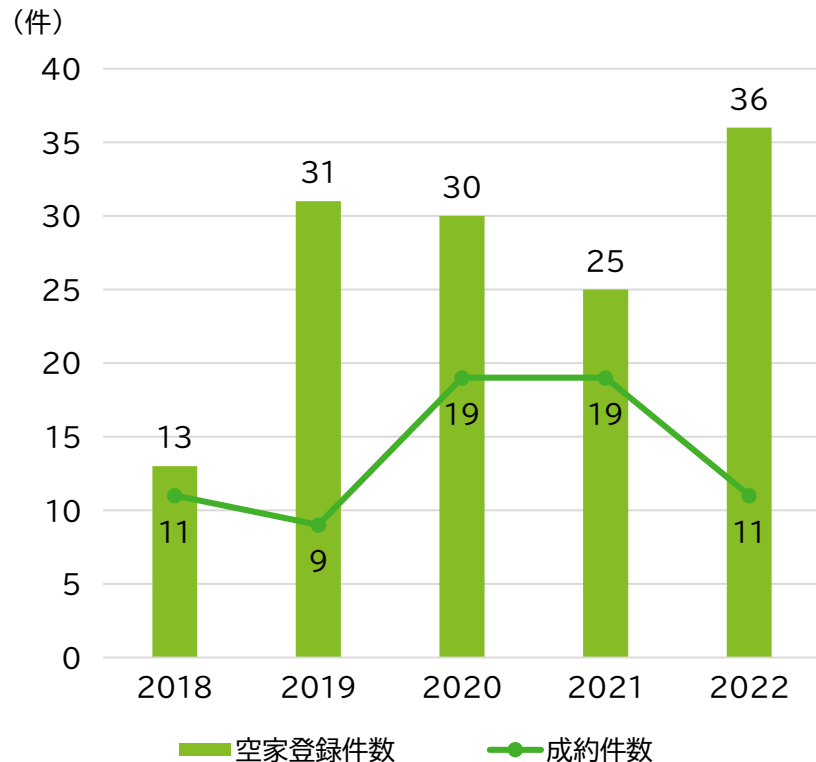


1 - 2.【住環境】

論点 6. 空き家

空き家バンク登録・成約件数の推移

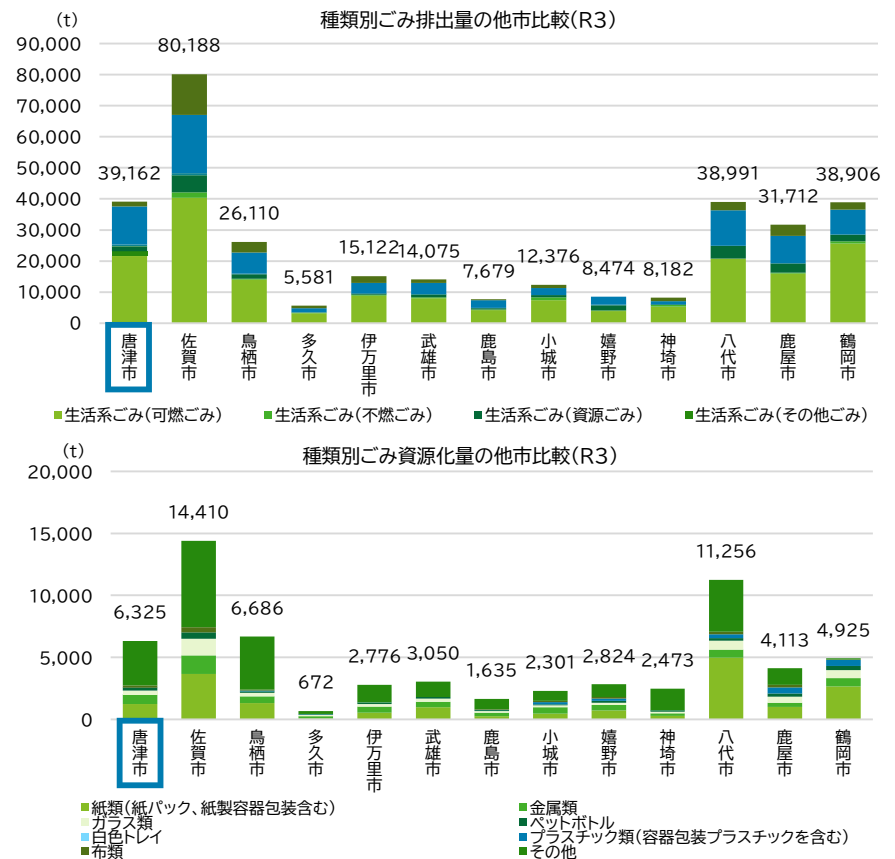
空き家バンクに登録されている空き家の数は、2022年に過去5年間で最も多い登録件数となっているが、唐津市の空き屋総数を踏まえると、未だ高い水準とは言えず、**今後は登録数の増加とともに、成約数の増加にも注力する必要がある。**



論点 7. 環境整備・水害対策

種類別ごみ排出量・資源化量の他市比較 (2021年)

唐津市は、**ごみ排出量は鳥栖市や八代市より多いが、資源化量は2市を下回っており、資源化量に向上の余地があるとみられる。**

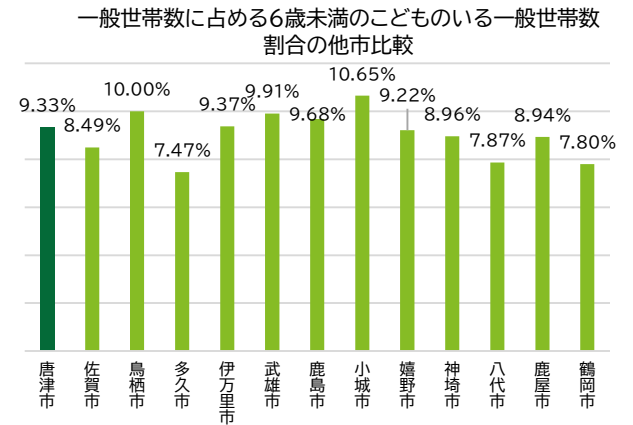
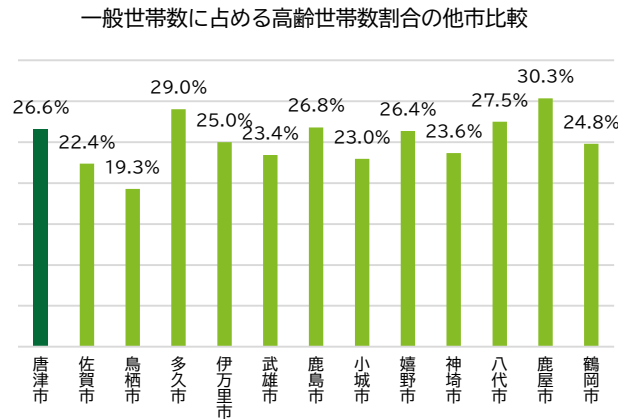


1 - 3.【医療・福祉】

カテゴリ 3 医療・福祉

医療・福祉に関わる世帯の割合（2020年）

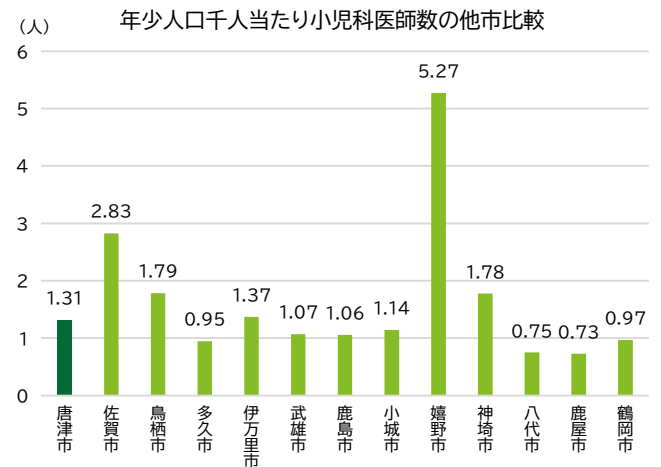
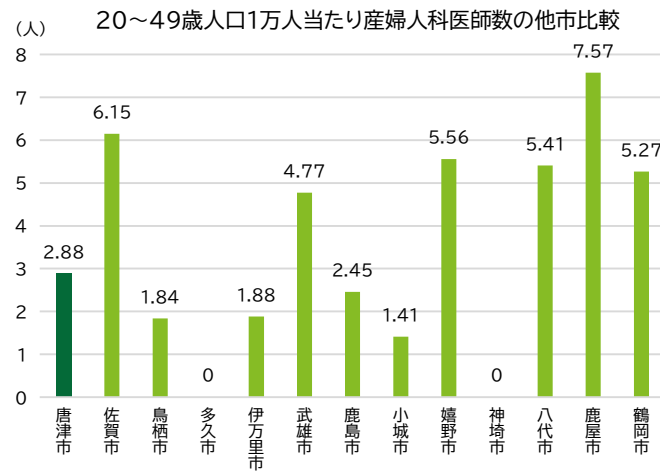
高齢世帯割合26.6%に対し6歳未満の子どもをもつ世帯割合が9.3%と、**他市と比較して高齢世帯、子育て世帯ともに割合が比較的高いことがわかる。**
人口規模が同程度の類似市は高齢世帯数が多い一方、子育て世帯数は少ない傾向にあり、唐津市では対策の両立が課題となる。



論点 8. 医療

人口当たり産婦人科医師数・小児科医師数の他市比較（2020年）

産婦人科をみると、**子育て世代の対象となる20～49歳人口当たりの産婦人科医師数が佐賀市や類似市と比べかなり少ないことがわかる。**
年少人口当たりの小児科医師数は佐賀市と比較すると少ないものの、類似市と比較するとやや多い。



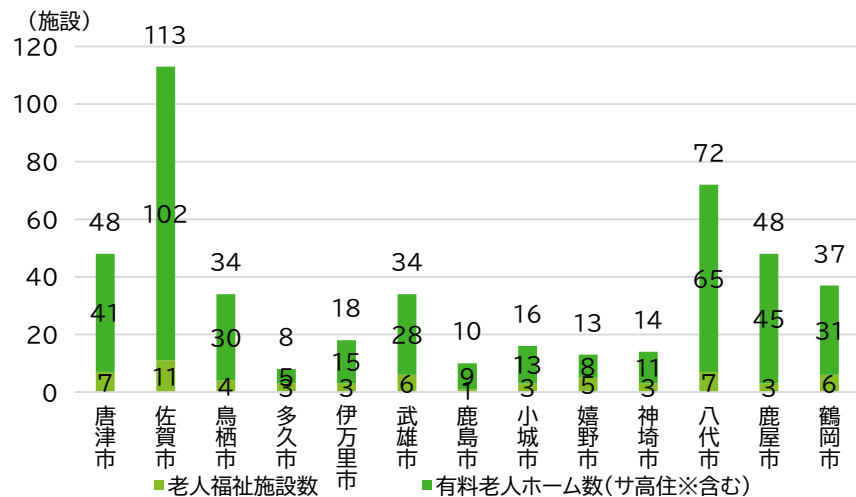
1 - 3.【医療・福祉】

論点 9. 高齢者福祉

老人福祉施設、老人ホーム数の他市比較（2021年）

唐津市の老人福祉施設、老人ホーム数は、人口規模が同程度の類似市と比較し、**鹿屋市や鶴岡市とは同程度であるが八代市を大きく下回る。**

老人福祉施設・老人ホーム数の他市比較



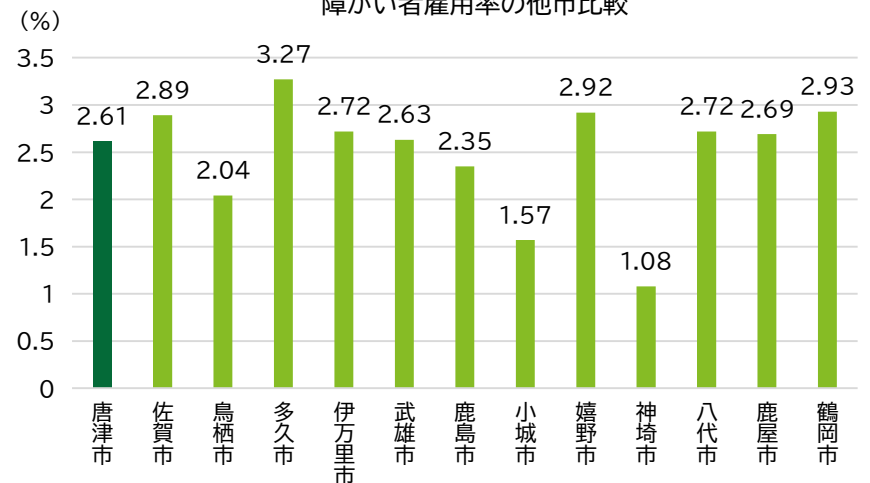
※サ高住=サービス付き高齢者向け住宅

論点 10. 障がい者福祉

障がい者雇用率の他市比較

唐津市の障がい者雇用率は2.6%で、佐賀市や類似団体市より低い水準である。

障がい者雇用率の他市比較



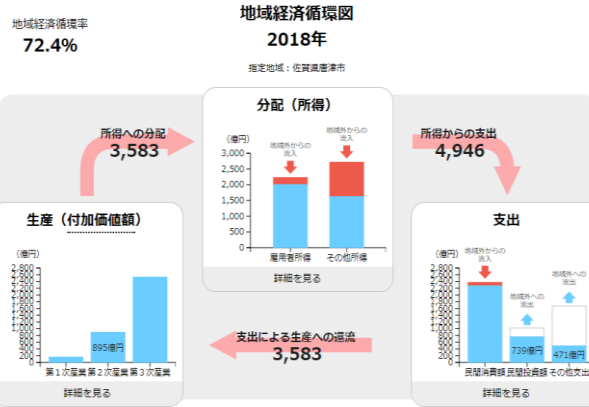
※佐賀県は2022年、熊本県・鹿児島県は2021年、山形県は2023年の値。
法定雇用率は2.6%

1 - 4.【地域経済循環分析】

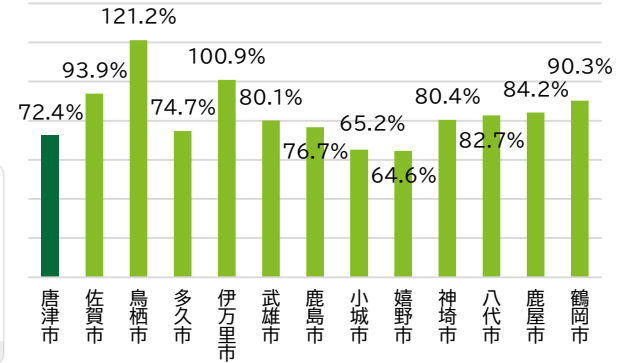
カテゴリ-4 地域経済循環分析

唐津市の地域経済循環状況（2018年）

地域経済循環図をみると、唐津市内で生産した付加価値額に対し、市民が得る所得総額の方が多く、所得は地域外から流入していることがわかる。また、その所得に対し、消費総額は多いことから消費は流入しているが、投資総額は少なく、投資が流出していることがよみとれる。
 地域経済循環率を他市と比較すると、唐津市は72.4%で比較市の中では3番目に低い。



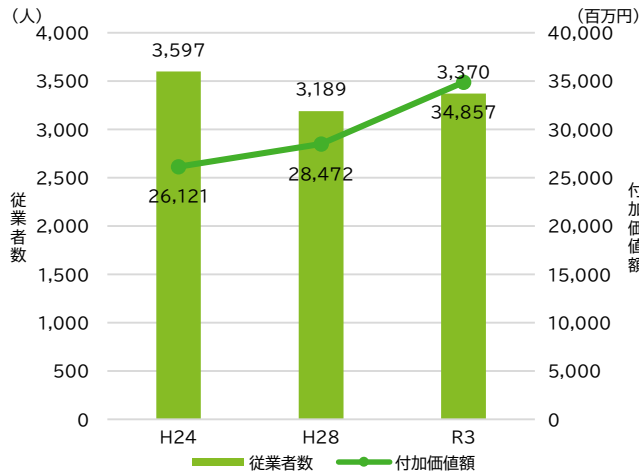
地域経済循環率の他市比較



論点 1.1. 生産

食品製造業の従業者数・付加価値額推移

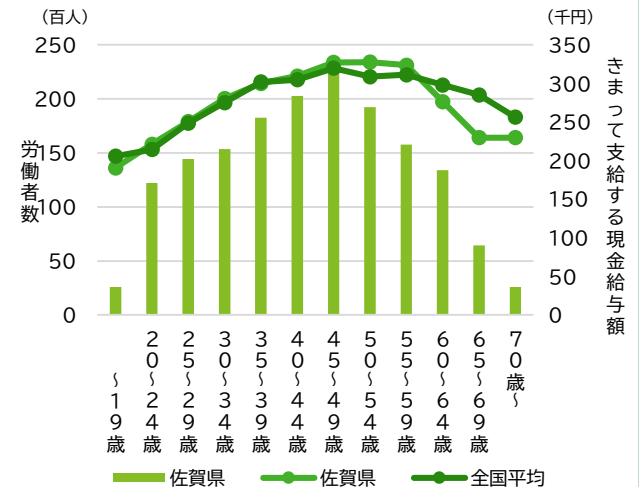
生産額で唐津市の強み産業の一役を担う食品製造業をみると、従業者数に変動はあるものの、付加価値額は一貫して成長しており、引き続き今後の発展が期待される。



論点 1.2. 分配

佐賀県の年齢別労働者数と現金給与額の平均比較(2022年)

佐賀県の労働者数と現金給与額を年齢別にみると、労働者数は40代が最も多く、また40代から50代にかけては現金給与額が全国平均を上回っている。一方、60代になると一気に給与額が下がり、かなり差がひらいている。

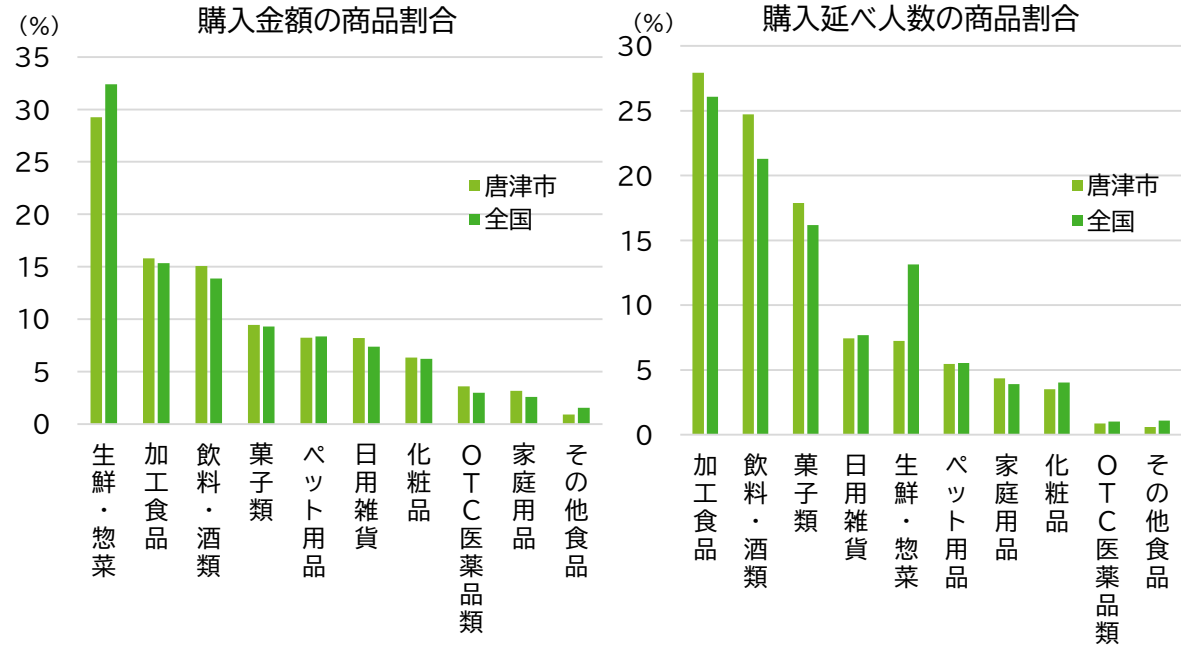


1 - 4.【地域経済循環分析】

論点 1 3. 支出

商品購入金額・購入延べ人数の平均比較（2021年）

唐津市の商品購入金額と購入延べ人数をみると、**生鮮・惣菜の購入割合が金額・人数ともに全国平均を下回っており、特に購入人数の割合は大きな差がある。**その他の商品は平均とほぼ同水準で、加工食品や飲料・酒類では唐津市の方が購入人数の割合が多いことから、生鮮・惣菜の消費割合が少ないことが特徴である。



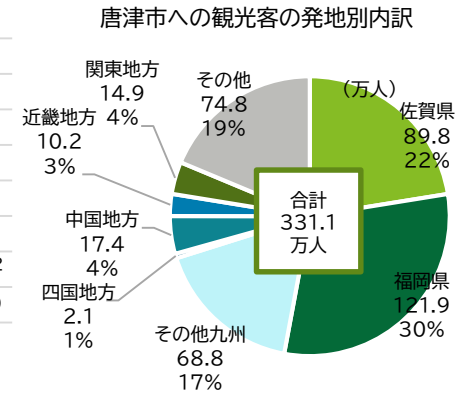
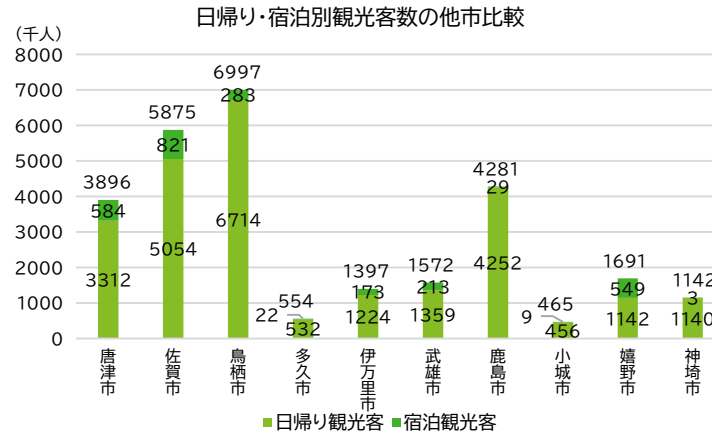
1 - 5.【観光】

カテゴリ - 5 観光

唐津市の観光状況（2019年）

2019年の総観光客数は約390万人で佐賀県内では4番目に多く、低い水準ではないものの県内で突出した値であるとは言い難い。ただ、総観光客数のうち宿泊観光客数は佐賀市に次いで多く、1日以上滞在する比較的長期の観光目的で訪れる人が多いということは強みだといえる。

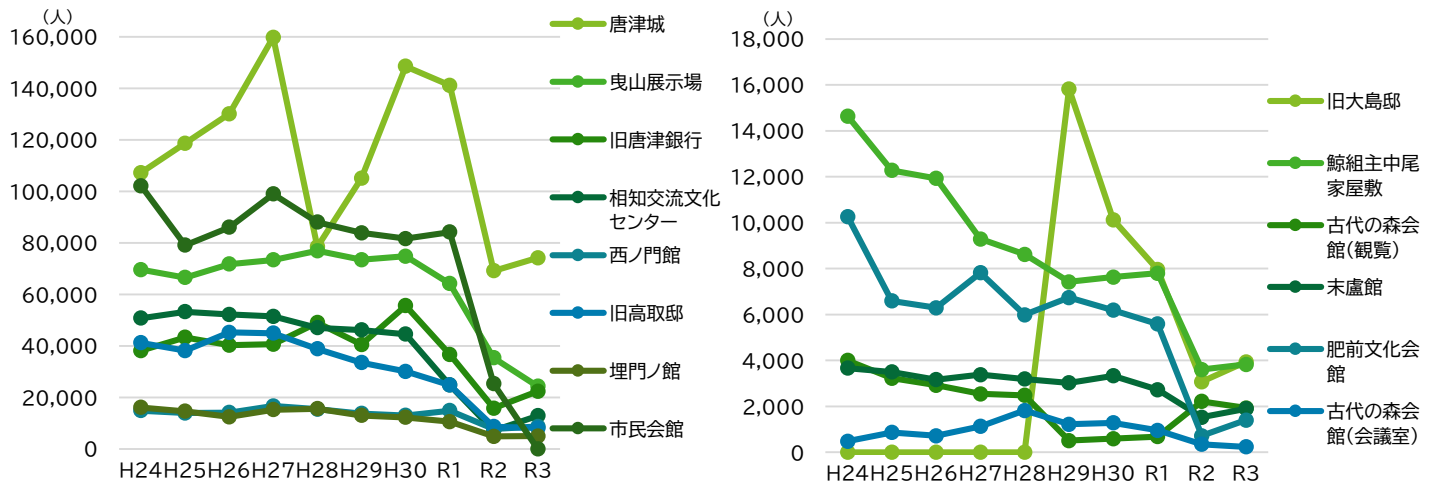
唐津市へ観光に訪れる人は佐賀県や福岡県などの九州地方からが約7割を占める。一方九州外になると一気に少なくなり、比較的近隣である中国・四国・近畿地方でも関東とほとんど変わらない割合である。



論点 1 4 . 観光産業

唐津市内の文化施設入場者数の推移

市内の文化施設で比較すると、どの施設も入場者数は減少傾向にあるといえるが、唐津城、曳山展示場、旧唐津銀行などは新型コロナウイルス感染拡大前まで微増傾向にあり、今後の入場者数増加が期待される。一方、旧高取邸、旧大島邸、鯨組主中尾家屋敷などは比較的顕著な減少が見受けられる。



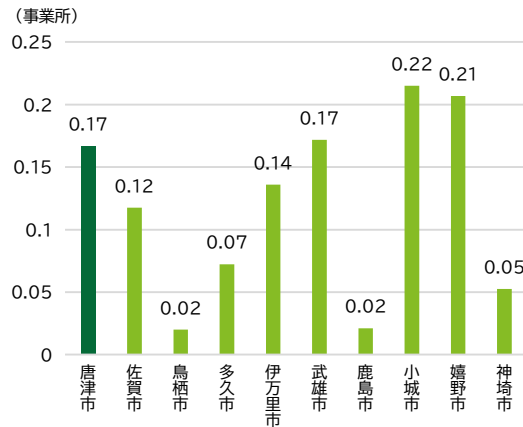
1 - 5.【観光】

論点 1 5 . 観光地の周辺環境

宿泊事業所数、観光地周辺の小売店・飲食店事業所数（2021年）

唐津市内の観光客数当たりの宿泊事業所数は、県内でもそれほど低い水準ではなく、宿泊施設は比較的整備されている状況にあると捉えられる。

観光客1万人当たり宿泊事業所数の他市比較



県内の主な観光施設のある地区別に小売店・飲食店事業所数を比較してみると、**唐津市は全体的に小売店・飲食店ともに少なく、特に従業者数の少なさが目立つ。**

観光施設周辺の小売店・飲食店事業所数(R3)

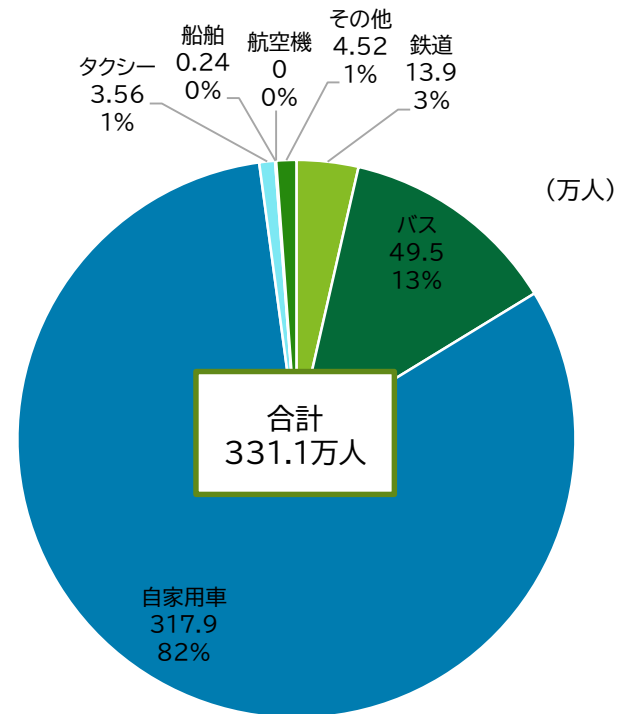
(事業所・人)

	観光施設	観光施設のある地区	小売店		飲食店	
			事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
唐津市	唐津城	東城内	9	25	3	5
	波戸岬海中展望塔	鎮西町波戸	6	7	5	5
	唐津曳山展示場	新興町	14	80	16	50
佐賀市	大隈重信記念館	水ヶ江2丁目	12	53	4	5
	神野公園こども遊園地	神園4丁目	3	16	-	-
	佐賀城本丸歴史館	城内2丁目	7	29	6	31
多久市	多久聖廟	多久町	23	85	10	37
武雄市	県立宇宙科学館	武雄町大永島	13	73	3	21
神埼市吉野ヶ里	吉野ヶ里歴史公園	吉野ヶ里町田手	16	170	7	107

論点 1 6 . アクセス

唐津市への観光客の交通機関利用状況（2019年）

唐津市に訪れる観光客は交通機関として自家用車を使う人が全体の80%を超えており、次いでバスが13%、鉄道はわずか3%となっている。



1 - 6.【地域・行政】

カテゴリー 6 地域・行政

地域協議体の取り組み・進捗状況

唐津市内各地域の地域協議体ごとに様々な取り組みが積極的に実施されているが、唐津ではボランティア、切木では「ふれあいの場」について検討されているのに対し、主な取り組み・活動のない地域も見受けられ、各地域で活動状況に差があることがみてとれる。

地域協議体ごとの取り組みおよび進捗状況一覧(主な地域抜粋)

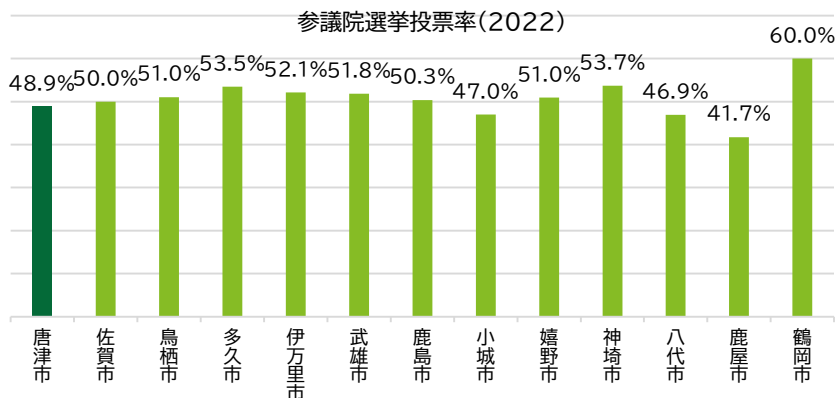
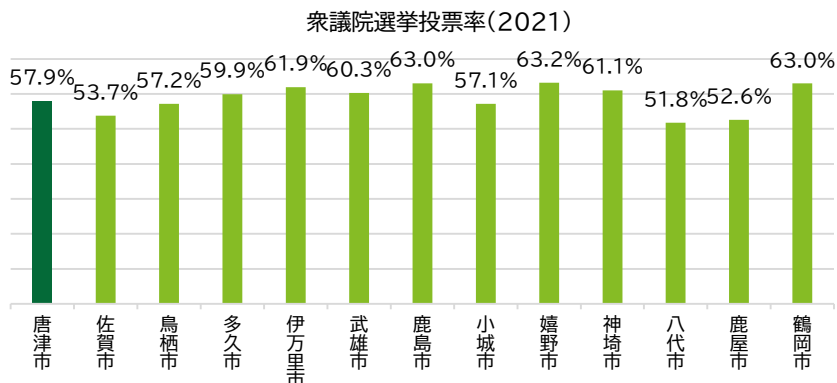
地区名	地域協議体での検討		協議体を通じた取り組みや活動
	R3	R4(予定)	
東唐津	・生活支援ボランティア周知について	・地域資源マップ作成 ・見守り体制状況確認および見守りマップ作成	・生活支援ボランティア「東唐津おたすけ隊」(R3.1月～) ・いきいき百歳体操(1ヶ所)
西唐津	・生活支援ボランティア「まかせんね」実施状況報告 ・買い物支援について ・子ども食堂について	・移動支援の検討	・生活支援ボランティア「まかせんね」(R2.9月～) ・いきいき百歳体操(2ヶ所)
浜玉	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議未実施	・通いの場について検討 ・通いの場の情報把握	・いきいき百歳体操(1ヶ所)
敵木	・生活実態アンケート結果分析、課題の整理 ・敵木地区の現状、住民感情について	・各地区公民館での体操教室推進	
相知	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議未実施	・生活支援ボランティア検討 移動支援試験運行予定	・いきいき百歳体操(1ヶ所)
北波多	・移動支援の実施について	・移動支援実証実験	・いきいき百歳体操(3ヶ所)
切木	・「ふれあいの場」開催について ・「ふれあいの場」実施	・「ふれあいの場」実施方法の見直し、検討	・ふれあいの場
鎮西	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議未実施	・地域の課題抽出および対策の方向性検討	・いきいき百歳体操(2ヶ所)
呼子	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議未実施	・地域の課題抽出および対策の方向性検討	
七山	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議未実施	・七山地区での取り組みについて検討 ・移動支援について検討 ・体操教室推進について検討	・いきいき百歳体操(4ヶ所)

1 - 6.【地域・行政】

論点 17. 地域・市民

選挙投票率の他市比較

唐津市の選挙投票率は衆議院選挙で57.9%となっているが、60%を超える他市も多く、高い水準であるとは言い難い。参議院選挙は衆議院から10%程度下がり、48.9%でこちらも他市と比べて比較的低い水準である。



論点 18. 行政

市職員数と目的別歳出科目割合の他市比較

唐津市は比較市の中で3番目に人口当たりの一般行政部門職員数(福祉関係を除く)が多い。財政をみると、唐津市の総務費の割合が高く、歳出額も比較市の中で最も高い。類似市と比較しても差はかなり大きく、八代市、鶴岡市の2倍以上の総務費歳出額であることがわかる。

